

草薙駅周辺地区のまちづくりに係る広報啓発資料等の作成

常葉大学 造形学部 土屋和男ゼミ

指導教員：教授 土屋和男

参加学生：山田美楓、近藤向南、原賀美空、大石陽音
赤井葉月、大塚波輝、兼田彩加、後藤夏海
佐々木美桜、里見純輝、白瀬孝一郎
宮城瑞規、森康輔、横馬侑吏

1 要約

一般社団法人「草薙カルテッド」の認知度を高めるためのマップ、ポスター等を作成し、配布、掲示した。「草薙カルテッド」は草薙駅周辺地区のまちづくりを担う都市再生推進法人であり、行政とは異なる柔軟なまちづくり組織として期待されるが、その地域における認知度は高いとはいえない。これを改善するために指定課題が課され、これに応えた。

2 研究の目的

草薙駅周辺地区のまちづくりは、まちづくり組織として「草薙カルテッド」（県内第一号の都市再生推進法人）が活動を実施している。しかし、前年度までの静岡市による、地区のアンケート調査の結果では、「草薙カルテッド」の認知度が低く、地域への定着度があまり高いことが判明していた。

この研究では、「草薙カルテッド」の活動内容や地区の特徴などを知ってもらうため、地区内外のすべての人が興味を持つことのできる広報啓発資料を作成することを目的とする。

3 研究の内容

草薙の特性や将来像について、まちづくり活動を実施している団体や行政等と連携して調査し、それらをわかりやすく市民に伝えるための広報資料を作成した。なお、調査にあたっては一般社団法人草薙カルテッド、草薙駅周辺まちづくり検討会と既に数年来の連携がある他、JR 草薙駅南口グランドデザイン研究会、NPO 法人まちなびやと連携した。

4 研究の成果

(1)当初の計画

調査：令和2年6月～11月（草薙商店会「子どもとつくったお店マップ」）

ケーススタディ：令和2年9月～11月（JR 草薙駅南口駐車場跡地の利用を考える）

広報作成：令和2年11月～令和2年1月

(2)実際の内容（Aは予定どおり、Bは一部修正、Cは中止など）とその理由

調査：B：令和2年7月～11月：既に草薙商店会と連携して事業を行っていた、NPO法人まちなびやによる「草薙まちのおしごと図鑑プロジェクト」の成果の提供を受け、併せて草薙商店会への照会等の指導を受けた。これに伴い予算が変更した。

ケーススタディ：B：令和2年9月～12月：JR草薙駅南口駐車場跡地の利用を考える提案がゼミから広

がり、後期の授業課題の一部に展開した。静岡市交通政策課と連携して計画を進め、図面と模型によってプレゼンテーションを行った。これに伴い予算が変更した。

広報作成：B：令和2年10月～令和2年1月：当該ゼミは環境デザインコースの学生によって構成されているが、制作物の質を上げるため、ビジュアルデザインコースの学生2名が加わり、作成を行った。また、制作物の見直しを行い、当初計画よりも大幅に印刷費が下がったため予算が変更した。



静岡市、まちなびやとの打合せ



草薙商店会との打合せ

(3)実績・成果と課題

1. 「みちくさなぎ」Vol.5 草薙商店会「子どもとつくったお店マップ」

A3 両面カラー 4つ折りのマップ

外面に「草薙カルテッド」の紹介、内面に「子どもとつくったお店マップ」

前項調査にもとづく「子どもとつくったお店マップ」を通して、「草薙カルテッド」を知ってもらねらいで作成した。親しみやすいイラストと紙面構成を目指した。既に刊行されている「みちくさなぎ」のVol.5として版型を合わせ、書式を決めた。静岡市管轄の関係部署、草薙・清水駅周辺の主要な施設、自治会等に広く配布された。



外面 「草薙カルテッド」の紹介



内面「子どもとつくったお店マップ」

2. 草薙商店会「子どもとつくったお店マップ」JR草薙駅構内 大判ポスター

A0 JR草薙駅南口掲示板ポスター

上記1、内面のマップを拡大したもの。JR草薙駅南口掲示板最上段に大画面で数年間掲示される見込み。

3. 草薙商店会「子どもとつくったお店マップ」静岡鉄道草薙駅前 大判ポスター

A0 静岡鉄道草薙駅前ポスター

上記1、内面のマップを変形、拡大したもの。静岡鉄道草薙駅北口前の酒店壁面に大画面で数年間掲示される見込み。

4. 「まちを育てる」JR草薙駅構内 大判ポスター

B0×2 JR草薙駅北口掲示板ポスター

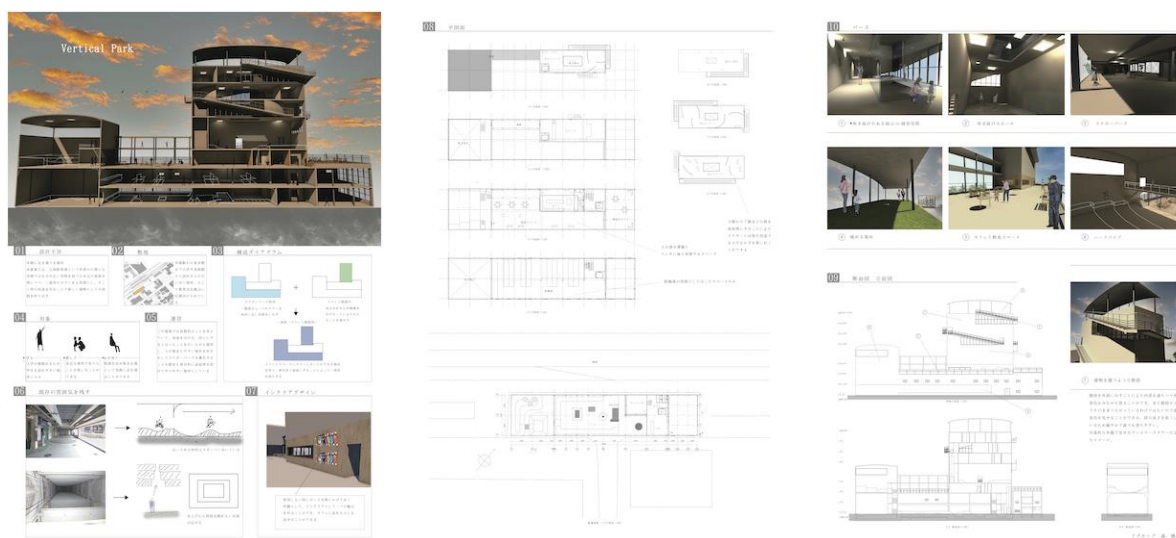
「草薙カルテッド」関係者が、それぞれの職業や地域活動を示す服装や物を持って、JR草薙駅南口を背景に、一堂に会したモンタージュ写真（写真家、杉山雅彦氏撮影）と、「草薙カルテッド」の紹介文で構成した。JR草薙駅北口掲示板最上段に大画面で数年間掲示される見込み。



「草薙カルテッド」関係者と団体の説明文

5. 「JR草薙駅南口駐車場跡地の利用を考える」提案・発表

廃止されたJR草薙駅南口駐車場を題材に、その建物を再生・活用・転用（リノベーション・コンバージョン）する提案に取り組み、2020年12月に常葉大学瀬名キャンパス内で展示を行うとともに、公開発表会を行った。ここでは、立地特性、特殊な形状・構造、「草薙カルテッド」による持続可能な運営等が課題となった。



JR草薙駅南口駐車場のリノベーション・コンバージョン提案の一例

(4)今後の改善点や対策

上記の成果を受け、既に刊行されている「みちくさなぎ」Vol.1～4の改訂版を作成する。これらを継続的に作成することで、まちづくり広報誌としてのシリーズ化が図れる。

大判ポスターは数年間にわたり継続的に掲示される見込みであり、その予備も印刷した。

JR草薙駅南口駐車場のリノベーション・コンバージョン提案については、本ゼミを超えて授業課題となり、今後、優秀作品をパネル化し、駅やまちづくりイベントの際に展示する予定（別予算で行う）。



ポスター掲示の様子（北口）



ポスター掲示の様子（北口）



公開発表会の様子



公開発表会の様子

5 地域への提言

今回の成果物が地域に配布され、駅に掲示されることで、「草薙カルテッド」の活動を、地区住民はもとより、県内外に広く知らしめることが期待できる。これらの広報を通して、行政とは異なるまちづくりの担い手となる都市再生推進法人の可能性を示すことができればよいと思う。また、具体的なまちづくりに学生が主体的に関わることによって、プロジェクト型の実践的な教育ができたとともに、地域にも刺激を与えることができたと考える。今回は、既存の文面や写真を用いて広報資料を作成し、その内容も既実施イベントの紹介等が多かったが、今後は「草薙カルテッド」が公共施設の運営等、長期的、持続的なまちづくりも担うことが予想される。そうしたときに、学生がどのように関わることができるのか、検討いただければ幸いである。

6 地域からの評価

静岡市役所清水駅周辺整備課は、草薙駅周辺地区のまちづくりを所管し、駅周辺のハード整備にあわせ、ソフト対策として「草薙カルテッド」の活動を支援している。この組織は、社会実験等の参画が活発であったが、地区の認知度が低かったため、本事業を活用し、認知度向上を目指した。

成果品は、草薙のイメージとして緑を主体としたマップ、ポスターを作成し、作成過程において現地に足しげく通い、対話を用いたことで、当初予定していた公共空間から民地内の活用に広がり、関係者の協力が得られている。今後、広報活動を継続し、地区の愛着度が向上する連携を期待したい。

（評価者：静岡市役所 都市局 都市計画部 清水駅周辺整備課 駅周辺計画係 主査 高野寛）